

④ 「経営改善考察資料」（年度末用）の作成
この経営改善考察資料（以下考察資料）は、集計された評価結果をまとめて職員会議等、全職員参加による全体会での協議資料とするものであり、問題点、改善点を見出すための考察資料として活用する。年度末用集計票（aⅠ票）及び考察資料（年度末用集計票－aⅡ票－）は、学校経営の実態を正しく知ると同時に、経営上の問題点の所在を明確にとらえることを意図している。

考察資料（年度末用集計票－aⅡ票－）の様式を表18として示し、その作成の仕方を以下の項目に従って述べることになるが、「職員会議等での修正・付加」の欄を除いては、学期末用考察資料とほぼ同じ内容なので、特に事例を用いず、略記する程度にとどめる。

ア 「評価領域の平均点」の欄の記入

年度末用集計票（aⅠ票）から、領域ごとの平均点を転記する。

イ 「プロフィール」の作成

前項※印の総平均を基準として、評価領域平均点をその数値に従って両側に振り分ける。プロフィール尺度は、自校化された評定尺度をもとに、総平均を基準として（表中のプロフィール欄の「平均」のところの縦線）作成する。前項※印の場合は、五段階評定の場合である。

ウ 「集計結果による改善点」の欄の記入

㉗ プロフィールを見ながら自校の水準（総平均）より抜き出ている領域、また、陥没している領域を見つけ出す。

① 自由記述による問題点、改善点を簡潔にまとめる。（P 25の㉗参照）

㉘ プロフィールと自由記述の両者を併わせて検討し、「継続すべき点」「改善すべき点」に振り分け、項目的にまとめて記入し、考察資料とする。なお、期末用考察資料（b票）も参考にする。

表18 経営改善考察資料表（年度末用集計票）－aⅡ票－

－aⅡ票－		経営改善考察資料－年度末用－（集計票）				昭和 年 月
領域	領域	評価領域の平均点	プロフィール（平均）	集計結果による改善点		職員会議等での修正・付加
経営領域	経営評価領域			継続すべき点	改善すべき点	
教育目標・教育計画	①教育目標					
	②教育課程					
	③教科指導					
	④道徳教育					
	⑤特別活動					
	⑥生徒					
	計					
運営領域	①組織機構と執行					
	②企画・運営委員会、各種委員会					
	③職員会議					
	④情報					
	⑤PTA・地域社会					
	⑥学校経営評価					